

# ふなかわら



## 目次

- |                          |                               |
|--------------------------|-------------------------------|
| 1. 会長あいさつ (小原 侃) …………… 2 | 8. 同期会だより …………… 9             |
| 2. 同窓会総会特別講演 (錦織綾彦) …… 3 | 9. 会員調査票について …………… 11         |
| 3. 研究室紹介 (宇留野 強) …………… 4 | 10. 同窓会幹事 …………… 11            |
| 4. 99年「実践社会薬学」の日程と講演者 4  | 11. 同窓会入会率 (平成11年5月31日 現在) 11 |
| 5. ファーマシスト21研究会 …………… 6  | 12. 訃報 …………… 12               |
| 6. 1998年度会計報告 …………… 7    | 13. 編集後記 …………… 12             |
| 7. 98年卒業生進路, 大学の現状 …… 7  |                               |

## 会員調査票について

同窓会では5年毎に会員名簿の更新をしております。次回名簿の配布は2000年12月を予定しております。そこで、会員調査票を会報に同封させていただきました。必要事項を楷書ではっきりと記入し、選択肢はいずれかに○をつけて下さい。自宅又は会社でE-mailを受け取れる方はアドレスをお書き下さい。近況報告や同窓会に対するご意見、ご要望等ございましたら通信欄をご利用下さい。なお、前回名簿に掲載されている方も確認のため調査票は必ず投函して下さい。ご協力よろしくお願いいたします。

## 会員名簿について

次回2000年12月発行の会員名簿は正会員には無料配布いたします。良い機会ですのでまだ未加入の同窓生に是非入会を勧めて下さい。また、会員名簿への掲載広告を募集しております。掲載料は下記のとおりです。ご協力お願い申し上げます。

B5 1P 50,000円 1/2P 25,000円  
1/4P 15,000円

広告掲載ご希望の方は調査票の広告申込欄に○をお付け下さい。後ほど同窓会より詳しい資料をお送りします。

## 同窓会幹事

会長	小原 侃 (1)
副会長	黒崎 浩巳 (1)
	山口 稽子 (2)
	中村 洋司 (3)
	池北 雅彦 (12)
監査	安達 順一 (11)
	岡宮 智子 (11)
会計	池北 雅彦 (12)
	村松 延弘 (9)
会報・記録	池北 雅彦 (12)
	武尾 勝司 (9)
	湯田 康勝 (5)
	小暮 涉 (11)
	菅原 伸治 (15)
	渡辺 宏二 (18)
実践社会薬学	中村 洋司 (3)
	石井 賢二 (7)
	寺山 博行 (7)
	石井 甲一 (11)
企画	黒崎 浩巳 (1)
	宇留野 強 (4)
	奥村 成太 (8)
	上村 直樹 (23)

## 薬学部同窓会・年次別の入会者比率

同窓会入会率 (平成11年5月31日現在)

期	会員数	正会員数	入会率%
1	124	86	69.4
2	139	98	70.5
3	160	75	46.9
4	135	76	56.3
5	183	96	52.5
6	188	60	31.9
7	190	73	38.4
8	155	55	35.5
9	174	67	38.5
10	169	53	31.4
11	181	79	43.6
12	250	84	33.6
13	177	54	30.5
14	192	52	27.1
15	139	40	28.8
16	175	53	30.3
17	183	52	28.4
18	199	49	24.6
19	159	28	17.6
20	185	49	26.5
21	188	46	24.5
22	188	50	26.6
23	179	48	26.8
24	189	37	19.6
25	160	25	15.6
26	169	26	15.4
27	200	25	12.5
28	241	22	9.1
29	178	19	10.7
30	180	10	5.6
31	200	19	9.5
32	176	16	9.1
33	200	16	8.0
34	169	3	1.8
35	178	2	1.1
36	170	0	0.0
計	6422	1643	25.6
大学院*	161	11	6.8

\*理大薬学部卒業生を除いて

名簿	伊集院一成 (25)
	中村 洋司 (3)
	飯塚 忍 (12)
	上村 直樹 (23)
	伊集院一成 (25)
コンピュータ担当	山口 稽子 (2)
	石坂 隆史
	(大学院)
事務局	山口 稽子 (2)
同窓会総会 (講演会)	
	7期幹事

## 鍼灸はなぜ効くか ——神経生理学的な側面から——

関西鍼灸短期大学教授 錦織 綾彦

## 1. 東洋医学の生命観と鍼灸治療

## 1) 「気血」とは？

ヒトの生命は、東洋医学的には「気」と「血」という2つの因子の作用によって支えられていると考えられている。このため我々が東洋医学的に生命の本質を捉えようとするとき、まず「気血」が何かということを考えなければならない。「気血」は、古代の人々が科学的手段を何ら持たずに、生命の本質を言い表すために作り出した概念であり、生命のメカニズムをブラックボックスとして扱うために生み出された概念であるといえる。このうち「血」は顔色のように目で捉えられるものを対象としており、「気」は原因を目で捉えて明らかにできないものを対象としている。このため「気」は、人体に限らず「天気」のように自然現象を対象としても使用され、広く万物の根元であると位置づけられている。要するに「気血」を現代的に表現すると、「神経系、内分泌系、循環系などに帰属するすべての生命活動としての機能の代名詞である」といえる。

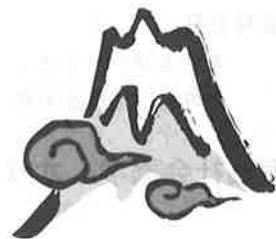
## 2) 経絡と経穴（ツボ）及び鍼灸治療

「経絡」（脈管系を強く意識した概念であるが、現在のところその実態は定かでない）は、「気血」の運搬ルートとして人体に設定された特別な通路で、内臓と末梢の各器官とを結び、1年の月数に応じ12本（正経十二経脈）が設定されている。個々の経脈はそれぞれ個別の内臓に隷属し、順番にしたがって次々と連絡しあい、ちょうど山手線のような環状に繋がって全身を隈なくめぐるとされている。これに対して、「経穴」は「脈気発する所」とであると定義され、脈気を経脈内から周辺の組織に浸透させる経脈上の穴として想定されている。つまり、「経穴」は組織に対する「気血」の供給ポイントであり、現代的には「疾病の反応点、診断点でありかつ治療点である」と解釈されている。何らかの原因により「気血」の循環が障

害されると、その経絡が支配する領域に病気（気を病む）が発生する。この時には「経穴」からの脈気が出なくなり、痛覚過敏や筋の萎縮などの異常な反応が出現する。鍼灸治療がこの反応点（ツボ）に適切に行われると、気血の循環が改善されて病気が治癒することになる。

## 2. 鍼灸治療の科学的根拠

つい最近まで、鍼灸治療は上述のように、概念的で一見非現実的な生命観に基づき実施されるので、おうおうにして非科学的な治療であるとみなされてきた。しかし現在では、神経生理学の領域を中心に多くの研究がなされ、その治療効果の裏付けとなる科学的な証拠が蓄積されてきている。とりわけ、疾病と反応点（ツボ）との関係については内臓体性反射を中心とし、また鍼灸刺激の内臓機能に対する治療効果については、体性内臓反射を中心に反射経路等も含めてかなりのことが明らかにされてきた。さらに、鍼灸刺激により内因性のオピオイドが脊髄などの中枢神経系内に遊離されることも多くの人々が知るところとなっており、いまや鍼灸治療がまやかしのプラシーボ効果に基づくものであるという考えは過去のものになりつつある。



## 研究室紹介

臨床薬学研究室 宇留野 強

平成8年4月、理科大薬学部大学院に臨床薬学コースが設置され、その際にこのコースの基幹研究室として旧・臨床薬学研究室が設立されました。当初のスタッフは星野修(薬化学担当と兼務)、宇留野強、原博、石井賢二、砂金信義、西谷潔、松岡隆(敬称略)であり、活発に活動してきましたが、臨床薬学研究・教育をさらに効率的に進めるために、本年4月に久留・鈴木(潤)研究室(情報薬学研究室)のスタッフも加えて組織改変が行われました。その結果、新・臨床薬学研究室となり、現在の構成は宇留野(教授)、砂金(講師)、太田隆文(講師)、石坂隆史(講師)のスタッフ4名、臨床薬学コースの修士2年生2名、1年生1名、卒研究生8名であります。大学院臨床薬学コースの基幹研究室としての業務は多岐にわたり、大学院臨床薬学コース特論のカリキュラム検討、外部講師依頼、病院および薬局実習の実習先の決定、依頼などがあります。これらは臨床薬学関連分野の先生方、本薬学部卒業生などのご協力により進めています。

新スタッフとなってからまだ間がないため、研究室運営はスタッフ会議を頻繁に開催して緻密に進めています。本研究室のコンセプトは、「臨床現場と深く連携をとりながら理科大薬学部独自の医療薬学・臨床薬学を確立する」と決めました。今年度の研究は、現在注目されているEBM

(Evidence Based Medicine)を中心に進め、その可能性と学部学生への教育方法を検討しています。

「臨床薬学」は、臨床の現場と接点を持つ機会が極めて少なかった理科大薬学部にとっては未開拓な分野です。困難なことも多いとは思いますが、卒業生の方々にご協力を仰ぎながら、スタッフ一同、一丸となって優秀な学生を社会に送り出す努力をする所存ですので、よろしくお願いいたします。

なお、医療現場でご活躍の卒業生の方々と「ファーマシスト21研究会」という勉強会を年に2～3回開催しています。また、久留・鈴木(潤)研究室と共同で「薬剤師の広場」というWEB Siteを開設していますので、一度ご覧になって下さい。

(<http://www.ps.kagu.sut.ac.jp/~urmlab/>)

(石坂隆史 記)



## 99年「実践社会薬学」の日程と講演者

10月9日

オリエンテーション 石井甲一 (11期)  
化粧品と化粧品業界 高野勝弘 (15期)

実践社会薬学 オリエンテーション  
11期 石井 甲一

実践社会薬学講座も4年目になる。今回は、冒頭、同窓会の小原会長から聴講する学生にご挨拶をいただいた上で、オリエンテーションに入った。まず、実践社会薬学講座を実施することになった理由を次のように説明。すなわち社会へ出てからの貢献の仕方、大学の講義内容の社会での活用状

況、母校との関わり、薬剤師の環境変化について、先輩として自分の経験を語ることで理解してもらおうというもの。薬学部卒業生の進路の変遷、薬剤師調査の変遷について、現場において薬剤師免許を使用している分野、特に薬局の比率が増加し、企業関係の比率が減少していることを、数字をもって説明。次に、どのような先輩が経験を語るのかということで、企業で薬の開発、販売、流通などに携わっている先輩、薬局や病院で調剤に携わっている先輩、また、今回初めての登場である、化粧品企業の団体に勤務する先輩について紹介。その他、薬のライフサイクルと適正使用について解説し、加えて自分の行政経験のうち、いくつかの事項について解説。学生もしっかり聴講してくれて、楽しく講義を終了した。

**10月16日、23日、30日、11月6日**  
**病院、保険薬局および一般薬局における**  
**薬剤師業務**

- 10月16日  
 オリエンテーション  
 上村直樹 (23期)  
 薬剤師の倫理、もとめられる資質  
 楠美里子 (15期)
- 10月23日  
 薬剤情報の整理・活用  
 畑中典子 (14期)  
 地域と薬剤師の関わり  
 中村洋司 (3期)
- 10月30日  
 介護と薬剤師 伊集院一成 (25期)
- 11月6日  
 病院薬剤師の業務 小茂田昌代 (15期)  
 患者対応ロールプレイング  
 担当講師全員

**実践社会薬学講座 (薬局・病院)**

23期 上村 直樹

今年度より薬局と病院を分けずに臨床現場で働く薬剤師としてひとつにまとめて講義をしました。1日目は薬剤師に必要な資質や倫理、2日目は薬局での情報業務と地域との関わり、3日目は在宅医療とOTC販売、4日目は病院業務とロールプレイという内容です。事前の打ち合わせを数回行い、綿密なプログラムにしました。職場と設備

の紹介や経験談などは減らして、臨床現場で働く薬剤師に求められることや生きた知識の必要性を説くことにしました。特にロールプレイングでは患者や医師とのやりとりを解説し、薬剤師にはコミュニケーション技術が必要なことを理解してもらいました。

これにより学生は大学での講義や薬局・病院実習の重要性を再認識したものと確信しています。

新しい試みとしてはホームページを作成し、講義終了後に講義内容をアップロードして復習を可能にしたり、資料をダウンロードして入手できたり、各講師に直接メールで質問できるようにしました。また、講義はすべてPower Pointを使用したプレゼンテーションで、視覚的効果も十分発揮できたと思っています。

ホームページアドレス

<http://www.ifnet.or.jp/~pharmic/>

**11月27日、12月4日**  
**医薬品企業における薬剤師**

- 11月27日  
 医薬品企業の役割と現状 寺山博行  
 前臨床開発一外資系企業の場合一  
 野村俊二  
 開発担当者の役割と現状 小川利明  
 くすりの誕生と薬事  
 一ゆりかごから墓場まで一 曾我芳則  
 一般用医薬品を考える 栗田深直  
 Q&A 担当講師全員
- 12月4日  
 製薬会社の営業・マーケティング  
 安達順一 (11期)  
 医薬品卸の医薬情報収集と最近の話題  
 富田紀子 (3期)  
 Q&A 担当講師全員





## ファーマシスト21研究会

臨床薬学教授 宇留野 強  
同窓会副会長 中村 洋司

ファーマシスト21研究会は本学同窓生で臨床の場で活躍しています薬剤師と臨床薬学を教育、研究しています薬学部の先生方との交流を目的とした研究会です。

臨床の場を持たない本学は、どうしても大学の外に研究の場を持たざるを得ません。また、実際に臨床の場で活躍しています薬剤師は研究の場を持っていません。そこで、お互いに研究発表したり、共同研究をしたりして交流を深めようとしています。

発足以来数回の勉強会をおこなってまいりました。また、共同研究を行い学会発表も行われ成果も上がっております。

市中の薬局薬剤師、病院薬剤師はどなたでも参加できます。また、将来薬剤師活動をはじめよう

と思われています方々もぜひ参加していただき薬剤師職能の向上のため交流を深めようとおもいます。

研究会は大学内の教室で年に3～4回を予定しています。

これから急速に変化する医療に対応するためにはお互い学術面など広く情報を求めなければなりません。多くの同窓会員の皆さんの参加を期待しています。本会に参加希望される方は、住所、氏名、卒業年次、メールアドレスをお持ちの方はメールアドレスを記載の上、同窓会事務局にFax下さい。研究会開催日時、アジェンダ等をお知らせいたします。

# 1998年度会計報告

東京理科大学薬学部同窓会  
1998年4月1日～1999年3月31日

収入の部		支出の部	
内訳	金額	内訳	金額
同窓会費	1,440,500	人件費	649,750
利息	44,492	電話代	33,861
講演会参加費	12,000	会議費	22,332
寄付	50,000	会報印刷費	429,336
名簿売上	5,000	会報発行発送経費	437,509
雑収入	104,167	諸案内状印刷費	334,698
		通信費	416,798
		コピー代	76,488
		講演会謝金	50,000
		事務用品	17,104
		運動会寄付金	50,000
		交際費	18,900
		雑費	111,725
合計	1,656,159	合計	2,648,501

前年度繰越金 28,536,061  
 今年度残高 -992,342  
 次年度へ繰越 27,543,719

資産内訳  
 定期預金(三和) 13,000,000  
 郵便定額預金 12,637,008  
 普通預貯金 1,906,711  
 計 27,543,719

以上の通り会計報告いたします

1999年5月25日

会計

池北 雅彦  
 村松 延弘



## 監査報告

会計報告の各事項を調査し、その収支ともに正確であることを認めます。

1999年6月10日

会計監査

安達 順一  
 岡宮 智子



## 98年度卒業生進路

薬学科

長白会タニククリニック

玉川総合病院

順天堂大学医学部付属伊豆長岡病院

成和会西新井病院

鶴丸調剤薬局

パーコス調剤薬局

好宮特許事務所

日本サーファクタント工業

国際医療センター

クラフト

住商リテイルストアーズ

クインタイルズ・アジア・インク  
 サンキュードラッグ  
 ディーエイチシー  
 淡路町ファーマシー  
 ユニオンエース  
 カニエ調剤薬局  
 ファーミック  
 たくみ外苑薬局  
 ハックキミサワドラックス  
 望星薬局  
 福  
 東京医科歯科大学医学部附属病院研修生  
 東京大学医学部附属病院研修生  
 東京都（都職員）  
 信州大学医学部附属病院研修生  
 秋田大学医学部附属病院研修生  
 日本グラクソ  
 日本医科大学医学部附属病院研修生  
 日本調剤  
 武田薬品工業  
 明治製菓  
 藤沢薬品工業  
 萬有製菓  
**進学**  
 東京理科大学大学院  
 慶応義塾大学大学院  
 九州大学大学院  
 東京大学大学院  
 筑波大学大学院  
**製薬学科**  
 イノン  
 日本調剤  
 ジャスコ  
 マツモトキヨシ  
 MIKI薬局  
 国立相模原病院  
 北総白井病院  
 東十条病院  
 春陽会上村病院

鹿野博愛病院  
 クラフト  
 ヘキスト・マリオン・ルセル  
 久光製菓  
 救心製菓  
 三共  
 小野薬品工業  
 中外製菓  
 明治製菓  
 テルモ  
 科研製菓  
 白元  
 山之内製菓  
 日本ロシュ  
 興和  
 ジョンソン・エンド・ジョンソン  
 モリメディカル  
 住友金属鉱山  
 住友製菓  
 第一製菓  
 日本たばこ産業  
 協和醗酵工業  
 クインタイルズ・アジア・インク  
 大蔵省東京税関  
 社会保険庁  
 青森県職員  
 群馬大学医学部附属病院研修生  
 東京大学医学部附属病院研修生  
**進学**  
 東京理科大学大学院  
 大阪大学大学院  
 東京大学大学院  
 千葉大学大学院  
 金沢大学大学院  
 電気通信大学大学院  
**薬学研究科 修士課程**  
 ノバルティスファーマ  
 三共

三菱化学  
 大正製菓  
 第一製菓  
 日本グラクソ  
 武田薬品工業  
 和光純薬工業  
 横浜市職員  
 毛呂山町職員  
 国立感染症研究所  
 理化学研究所  
 国際医療センター研修生  
 日本イーライリリー  
 三共化成工業  
 第一化学薬品  
 日本ウェルカム  
 大日本製菓  
 明治製菓  
 ゼリア新薬  
 高田製菓  
 富山化学工業  
 ワーナーランバート  
 ハイテック  
 興和  
 エスディーエスバイオテック  
 東レ  
 味の素  
 サントリー  
 日本曹達  
 名古屋製酪  
 宮田香料  
 室蘭市立総合病院  
 すずらん薬局  
**進学**  
 東京理科大学大学院博士後期課程  
 東京大学大学院博士後期課程  
 東京医科歯科大学大学院博士後期課程  
 横浜市立大学大学院博士後期課程  
**薬学研究科 博士後期課程**  
 東京理科大学薬学研究科研究生

## 大学の現状

### 在校生について（1999.10.31 現在）

学部		1年	2年	3年	4年	小計
薬学部	男子	45	48	40	31	164
	女子	50	72	52	58	232
	小計	95	120	92	89	396
製薬学科	男子	49	43	41	42	175
	女子	57	55	50	59	221
	小計	106	98	91	101	396
合計		201	218	183	190	792

大学院修士		1年	2年	小計
薬学部	男子	38	32	70
	女子	17	14	31
	小計	55	46	101

大学院博士		1年	2年	3年	小計
薬学部	男子	1	3	2	6
	女子	1	1	0	2
	小計	2	4	2	8



## 同期会だより

### 6 回生卒後30周年記念同期会

7月11日(日)12時から、市谷アルカディアで6回生62名が卒後30周年の同期会を開催しました。86名が参加した20年目の前回からはや10年。お互いの消息やら、薬剤師としてどうあるべきか等。かしましく、時間の経つのも忘れて盛会のうちに終了しました。

先生方にもご案内したのですが、ご都合のつかない方が多く、近藤 保先生と山川浩司先生がご参加頂き、30年を経て教え子のたくましくなったことに、誇りを感じて(?)おられたようです。参加者は北は北海道、南は徳島からこの同期会のために東京へ来られた方もおられ、皆さん仕事とこれからの人生など、大いに盛り上がり、2次会にもほぼ全員が参加し、旧交を暖めた次第です。

前日の7月10日の薬学部同窓会総会では6回生が幹事当番で、同期の錦織綾彦君(関西鍼灸短期大学教授)の特別講演(鍼灸はなぜ効くか?—神経生理学的な側面から—)を企画したことから、同期会も開催することになりました。30年の節目として、良いきっかけになったと思います。また今年からは、同窓会から同期会への賛助金を頂けることになり、有り難く使わせて頂きました。一つ残念なことは幹事の一人であった大谷和弘君が前日に死去され、同期会の日にお通夜というめぐり合わせになってしまったことです。参加者全員でご冥福を祈りました。この次は卒後40年といわずに5年後くらいには開催したいものです。

(藤井幸子)



### 11期・12期同期会報告

私たちは毎回、合同で同期会を開いています。

今年も、2年前にやったばかりだというのに、幹事の一部から「やろう」との声が上がり、幹事数人に連絡したところ、一人の反対もなく、あっさりとして開催が決まって、9月に幹事会。

前もって同窓会から名簿を作成(最新の名簿は、その都度コンピュータから出力してもらえます)して頂き、宛名と切手貼り・案内状の作成とコピー・封筒入れ・郵送。ここまで約2時間。あとは割勘で楽しい幹事会。

さて10月16日の同期会当日は、心配された空模

様もまずまず。遠くは九州から駆けつけてくれる人もいて、うれしいことです。「友あり遠方より来る。また楽しからずや」。卒業以来25年、髪に白いものが目立つという大人が、まるで学生時代に戻ったように無邪気になれるところが、同期会の不思議さです。

在京の同期生の中には、一緒にゴルフやテニスを楽しんでいるグループもあり、和気藹々。

別の仲間たちの間では、温泉に行く約束が出来たり、山に登る計画があったり、和やかな午後のひととき、おいしい料理で、のんびり。

「まだ早い」の一言で二次会へ。ここはいつも

どおり全員参加。ここでもビール片手に2時間ほどしゃべりまくって、ようやくお開き。

左利きの人が多いのには驚きませんが、このうえまだ「もう1軒」。今度は小人数のグループに分かれてそれぞれ好みの店へ。あとは、…もう知りません。



今年から同期会を開く場合には、同窓会から「お祝い」（1期3万円）を頂けることになり、私たちは2期分を頂きました。お蔭様で、前回の赤字補填と、今回の通信費に大いに役立ちました。ありがとうございました。

(池北雅彦・小暮 渉)



## 22期同期会報告

1999年7月（7月10日）に薬学部22期の同期会（卒業年度にこだわらず）が日本出版クラブ会館で約70名の参加を集めて開催されました。実に卒業後10年以上ぶりの初めての会であり、参加者は髪の毛の量、ならびに顔のしわの数を増減させながら、当時の面影を探りつつ、3時間の楽しいひとときを持つことができました。また、本会の開催に合わせて作成した名簿は、かなり精度の高いものができました（名簿の精度にこだわって、電話連絡で住所の確認を行ったときに、新興宗教か

なにかの勧誘と間違われて、一悶着という微笑ましい事件もありました）。この名簿が皆さんのお役に立てることを祈っております。次回は4年後（オリンピックにあやかって）2003年の7月に本会を開催いたします。

今回、同期会開催に当たり薬学部同窓会から賛助金をいただきました。ありがとうございます。筆者は、慌てて同窓会に入会いたしました。今後とも、お見知りおきのほどよろしく願っています。

(安藤秀一)

同期会開催には同窓会をご活用ください。  
補助金の賛助も行っています。

同窓会を開きたいけれど、仲間の住所がわからない。こんなことでお悩みの方はぜひ同窓会をご活用ください。同窓会では会員名簿を本部のコンピューターで管理しており、同期会を開く予定の幹事さんに最新のデータをもとにした名簿一覧と宛名用シールを送付するお手伝いを行っています。また、昨年からの同期会の開催には年に1回、3万円の補助金の賛助を行っています。積極的に同窓会をご活用ください。同期会を開催した時には、その報告のご投稿をいただければ幸いです。

### 名簿一覧と宛名シールの申し込み方法

幹事氏名、卒業年、郵送先の郵便番号、住所、連絡先電話番号（昼間）をはがきにご記入のうえ、同窓会事務局までお申し込みください。2週間ほどで名簿一覧と宛名シール各一部を有料（1期分3,000円）でお送りいたします。

## 会員調査票について

同窓会では5年毎に会員名簿の更新をしております。次回名簿の配布は2000年12月を予定しております。そこで、会員調査票を会報に同封させていただきました。必要事項を楷書ではっきりと記入し、選択肢はいずれかに○をつけて下さい。自宅又は会社でE-mailを受け取れる方はアドレスをお書き下さい。近況報告や同窓会に対するご意見、ご要望等ございましたら通信欄をご利用下さい。なお、前回名簿に掲載されている方も確認のため調査票は必ず投函して下さい。ご協力よろしくお願いたします。

## 会員名簿について

次回2000年12月発行の会員名簿は正会員には無料配布いたします。良い機会ですのでまだ未加入の同窓生に是非入会を勧めて下さい。また、会員名簿への掲載広告を募集しております。掲載料は下記のとおりです。ご協力お願い申し上げます。

B5 1P 50,000円 1/2P 25,000円  
1/4P 15,000円

広告掲載ご希望の方は調査票の広告申込欄に○をお付け下さい。後ほど同窓会より詳しい資料をお送りします。

## 同窓会幹事

会長	小原 侃 (1)
副会長	黒崎 浩巳 (1)
	山口 稽子 (2)
	中村 洋司 (3)
監査	池北 雅彦 (12)
	安達 順一 (11)
	岡宮 智子 (11)
会計	池北 雅彦 (12)
	村松 延弘 (9)
会報・記録	池北 雅彦 (12)
	武尾 勝司 (9)
	湯田 康勝 (5)
	小暮 渉 (11)
	菅原 伸治 (15)
実践社会薬学	渡辺 宏二 (18)
	中村 洋司 (3)
	石井 賢二 (7)
	寺山 博行 (7)
企画	石井 甲一 (11)
	黒崎 浩巳 (1)
	宇留野 強 (4)
	奥村 成太 (8)
	上村 直樹 (23)

## 薬学部同窓会・年次別の入会者比率

同窓会入会率 (平成11年5月31日現在)

期	会員数	正会員数	入会率%
1	124	86	69.4
2	139	98	70.5
3	160	75	46.9
4	135	76	56.3
5	183	96	52.5
6	188	60	31.9
7	190	73	38.4
8	155	55	35.5
9	174	67	38.5
10	169	53	31.4
11	181	79	43.6
12	250	84	33.6
13	177	54	30.5
14	192	52	27.1
15	139	40	28.8
16	175	53	30.3
17	183	52	28.4
18	199	49	24.6
19	159	28	17.6
20	185	49	26.5
21	188	46	24.5
22	188	50	26.6
23	179	48	26.8
24	189	37	19.6
25	160	25	15.6
26	169	26	15.4
27	200	25	12.5
28	241	22	9.1
29	178	19	10.7
30	180	10	5.6
31	200	19	9.5
32	176	16	9.1
33	200	16	8.0
34	169	3	1.8
35	178	2	1.1
36	170	0	0.0
計	6422	1643	25.6
大学院*	161	11	6.8

\*理大薬学部卒業生を除いて

## 名簿

## コンピュータ担当

## 事務局

## 同窓会総会 (講演会)

伊集院一成 (25)  
中村 洋司 (3)  
飯塚 忍 (12)  
上村 直樹 (23)  
伊集院一成 (25)  
山口 稽子 (2)  
石坂 隆史  
(大学院)  
山口 稽子 (2)

7期幹事

幹事名簿 (1999年12月現在)	期	氏名	電話
1	小原 侃	03-3364-4858	石井 賢二 0424-74-9145
	黒崎 浩巳	0475-24-9270	寺山 博行 048-685-9383
	光井 英基	076-463-5717	飯田 典子 03-3334-7857
	山口堅志郎	042-374-2102	8 松岡 隆 0297-72-9621
2	日比野 貢	047-484-8057	奥村 成太 03-3268-0109
	山口 稽子	03-3680-0395	9 武尾 勝司 0492-71-7440
3	青木みやこ	0467-86-5662	林 一夫 027-260-1508
	中村 洋司	0422-44-2744	村松 延弘 0489-83-3608
4	池田 幸雄	0438-41-6587	吉野 晃司 045-381-4543
	宇留野 強	0297-52-0421	10 石井 啓子 03-5483-8089
	降矢美智子	046-256-1972	中島 敏夫 043-271-6025
	島谷 克義	0424-64-2555	原 しげ子 03-3398-0137
5	角田 公恵	03-3300-1834	11 安達 順一 045-623-5565
	山川 洋志	03-3427-6567	石井 甲一 03-5483-8089
	湯田 康勝	048-864-3982	小暮 渉 0463-31-0813
6	伊藤 孝雄	042-574-2035	岡宮 智子 03-3336-6060
	野村 恵美	047-354-0269	富秋 英志 045-982-0324
	漆畑 和子	0424-23-4413	向井 呈一 0471-43-1029
	竹上 昭	042-378-9722	12 飯塚 忍 043-287-5152
	藤井 幸子	03-3382-5723	田中貴代子 03-3918-7445
	渡辺 久子	0489-64-8800	池北 雅彦 03-3418-8586
			13 濱野 朋子 03-3904-8578
			波田野佐和子 047-483-6592
			14 田村 哲彦 047-324-3737
			15 菅原 伸治 045-301-3216
			中川 理恵 0471-83-4130
			16
			17
			18 渡辺 宏二 042-371-3119
			19
			20
			21
			22 小川 政彦 0492-48-7259
			安藤 秀一 03-3360-2822
			磯部総一郎 0422-54-5829
			和田 和裕 0425-81-2305
			23 上村 直樹 042-575-6836
			小安 純子 0427-99-0414
			24
			25 伊集院一成 0424-69-3050
			26
			27 工藤 菜美
			前田 真 03-5762-1232
			28
			29 大瀧 充 03-5351-5526
			神谷 貞浩 03-3388-6705
			30 大瀧 希美 03-5351-5526
			若林 政義 03-3949-5516
			31
			32
			33
			34
			35
			36
			大学院
			石坂 隆史 03-3716-8224

## 宛名シールをご確認下さい。

同窓会よりの封書が届きましたら、宛名シールで自分の会費納入状況をご確認下さい。

正……正会員 (入会金を納めた方)

∞……終身会員 (入会金と終身会費を納めた方)

数字 (例99-3) ……年会員 (例の場合1999年3月までの年会費を納めている方)

未……未入会の方

未入会の方はこの機会に是非ご入会下さい。また1999年度以降の年会費が未納の方 (99-3以前のマークのある方) は年会費5年分 (5,000円) を納入下さい。

年会費 25,000円

(入会金 20,000円+年会費5年分 5,000円)

終身会員 50,000円 (入会金を含む)

但し、会員の一親等親族および会員の配偶者の会費はすべて1/2とする。

(1997年7月19日会則改訂)

## 訃報

相澤 望 (31期) 平成9年8月24日

笹川(旧姓 塩崎) 理恵子(9期) 平成11年5月2日

大谷和弘(6期) 平成11年7月8日

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

## 編集後記

最近、同窓会の幹事会は出席者が増えてきて、話し合わなければならない議題が多くなり、議論も活発になっています。二〜三か月に一度の幹事会ですが、幹事たちにとっては、忙しい時間をやりくりして出席するだけでも大変です。それだけに、その場で「決めるべきこと」以外にも、後から「伝えるべきこと」、前もって「知っておくべきこと」がますます多くなります。

また、幹事にはそれぞれ担当の業務が割り当てられており、担当者どうしのコミュニケーションも必要です。そしてこの「相談したり」「相談されたり」というコミュニケーションが、幹事会の楽しい時間でもあるわけです。

今やインターネットやEメールが、従来の電話やファクシミリと同じように、職場や学校を始めとして家庭にも浸透しつつあります。会員の中から「ホームページを開いてほしい」という声が上がっているのも、当然のなりゆきでしょう。一部の幹事たちは、すでにEメールで情報交換や意思疎通を図っています。

通信費の問題や、アップデートをどうするか、内容についてなど、まだまだ解決しなければならない問題はありますが、実現に向けて努力したいと思います。何か良いアイデアやアドバイスがありましたら、事務局までご連絡ください。

### お詫びと訂正

前号(平成10年度発行分)の写真が誤って掲載され、関係者を始め皆様にご迷惑をおかけしました。謹んでお詫びして訂正させていただきます。